

【企画展 5】

朝鮮通信使と岩国

1. 概要

平成 29 年（2017）にユネスコ「世界の記憶」に登録され、全国で関心が高まっている朝鮮通信使について、上関における岩国領の対応とその文化交流に関連する資料とともに紹介

（担当学芸員：松岡智訓）

2. 会期

令和 3 年 10 月 31 日（日）～12 月 19 日（日）

ただし、月曜日休館

3. 開館日数 43 日

4. 入館者数 3,742 人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	所蔵※
0	朝鮮通信使船上関来航図（パネル）	江戸時代中期以降	超専寺蔵・上関町教育委員会寄託
第 1 章 通信使のはじまり			
1-1 室町時代の通信使			
1	朝鮮国惣図	寛保 3 年（1743）	
1-2 文禄・慶長の役			
2	吉見家朝鮮滞陣日記	江戸時代後期	
3	安堵状（吉川広家）	文禄 2 年（1593）カ	
4	家中系図	江戸時代後期	
第 2 章 朝鮮通信使			
2-1 国交の回復			
5	毛利輝元書状（写）		
2-2 信を通わす			
6	朝鮮人來朝萩方往返之留	宝暦 12～14 年（1762～64）	
7	信使來聘上関客館万覚書	享保 4 年（1719）	
2-3 通信使の概要			
8	朝鮮信使帰帆記	正徳元、2 年（1711、12）	
9	赤間関信使屋並近辺図	延享 5 年（1748）	
10	藍嶋絵図	延享 5 年（1748）	
2-4 通信使の終焉			
第 3 章 岩国領の対応			
3-1 上関の対応は？			
11	毛利秀就書状	寛永 20 年（1643）	
12	戸田忠昌・阿部正武・大久保忠朝書状（写）	天和 2 年（1682）	
13	毛利吉就書状	天和 2 年（1682）	
14	朝鮮人帰帆上関客館図	享保 4 年（1719）	
3-2 岩国領の体制と準備			
15	朝鮮信使來聘記	正徳元年（1711）	
16	官人來朝之節上之関御茶屋仕構之図	延享 5 年（1748）	

17	就信使来聘上関客館万事仕構覚書	享保4年(1719)	
18	朝鮮人来朝記	延享4年(1747)	
19	朝鮮人来朝用意方日記	宝暦13年(1763)	
20	朝鮮人帰帆客館記	享保4年(1719)	
21	朝鮮信使帰帆記	享保4年(1719)	
3-3 料理によるおもてなし			
22	官人来朝日帳 萩へ差出候控	天和2年(1682)	
23	朝鮮人来朝方覚書	明暦元年(1655)	
24	於赤間関信使其外御饗応献立写		
25	朝鮮通信使饗応等次第絵図	寛文10年(1670)	
26	御家中系図	江戸時代後期	
27	信使通筋覚書朝鮮人好物附之写	正徳元年(1711)	
第4章 文化の交流			
4-1 文化交流としての意義			
28	千字文	宝暦14年(1764)カ	
29	画冊	江戸時代	
30	圭斎唱酬	享保4年(1719)	
31	雞林唱和集	正徳2年(1712)	
32	朝鮮通信使唱酬集	正徳2年(1712) 享保4年(1719)	
4-2 栗屋氏の娘			
33	字体鑑(朝鮮通信使供覧諸字体手本)	享保4年(1719)	
34	岩国沿革志(能書家略伝)	明治43年(1910)	
35	岩邑年代記一	江戸時代後期	
36	御家中系図	江戸時代後期	
37	朝鮮通信使ー平和を伝える足取りー	平成27年(2015)	

※記載のないものは岩国徴古館蔵

## 6. 関連行事

### (1) 関連講座(郷土史研究会として開催)

演題:「ネットワークの視点で捉え直す朝鮮通信使と岩国藩」

講師: 鴨頭俊宏氏(新居浜工業高等専門学校非常勤講師)

日時: 令和3年12月19日(日) 10時~11時30分

場所: サンライフ岩国 大会議室

参加者: 30人

### (2) 担当学芸員による展示解説

日時: ①令和3年10月31日(日) 10時~10時30分

②令和3年11月14日(日) 10時~10時30分

場所: 岩国徴古館 第一展示室

参加者: 10人

## 7. 刊行物 企画展記念缶バッジ「信使通筋覚書 朝鮮人好物附之写」 1個 100円